

2023年度学校自己評価(かもめ幼稚園)

学校法人東海大学初等中等教育課

評価(Aよい Bおおむねよい Cどちらともいえない Dやや不十分 E不十分)

| 分野 | 重点目標 | 成果と課題 | 評価 | 改善策・向上策 |
|-----------------|--|---|----|---|
| 園運営(分掌) | 学校評価(自己評価・保護者アンケート)をふまえて、学校運営上の課題について、改善する。 | 創立50年目の節目を迎えた2023年度は、コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことに伴い様々な行動制限がなくなり、4月から園行事も通常通り実施することができた。マスク着用も基本的には無くなり、感染対策には留意しつつも通常の園生活を取り戻した一年であった。コロナ対策で変更・休止していた園行事、愛育会活動も徐々に従前の形での実施となり、行事等は各学年の分散ではなく合同での実施となり、全員揃っての活動が戻ったことを感謝したい。また、4年ぶりの第三者連絡協議会の開催、全保護者のアンケート結果を園運営に反映させていきたい。 | A | 第三者協議委員や保護者のアンケート結果を運営、教育活動に反映し、地域から更に信頼・支持される園作りを目指したい。 |
| 保育指導(教育課程・幼児指導) | 主体的に興味関心のある遊び・及び課題に意欲的に取り組み、生きる力を身につけられる保育を展開する。 | 保育活動もコロナ以前に戻り、東海大学の幼児教育の教育目標に則った遊びを通した総合的な指導を各クラスで展開し、生きる力を育むなど教育的成果をあげることができた。東海大学の一貫教育の中で羊の毛刈り体験、茶道教室など他では経験出来ない体験活動を通して一人一人の興味・関心をさらに広げることができた。 | A | 今後も東海大学における幼児教育の教育目標の主旨を生かしながら、遊びを通した総合的教育の一層の充実を図り、生きる力の育成に努めたい。 |
| クラス指導 | 教育目標を取り込んで、学級運営と学年運営の充実を図り、特色あるクラス指導をする。 | コロナによるマスクの生活がなくなり、友達との遊びやコミュニケーションが活発となり、様々な遊びを通して創造力豊かな教育活動を展開することができた。それぞれのクラスの学級経営方針に沿った指導も、挨拶の励行など、一定の成果をあげることができた。 | A | 安心・安全の環境の中で今後も東海大学の教育目標に即した教育活動を推進し、特色あるクラス作りを目指したい。 |
| 生活指導 | 自立できる子どもをめざして、それぞれの子どもの成長に寄り添って、発達段階を見据えた指導をする。 | 基本的な生活習慣の獲得と定着に向けて一人ひとりに応じた指導・援助を丁寧に行い、自立に向けて各家庭と連携をとりながら、生活習慣として根付くように指導していきたい。 | B | 幼稚園のみならず、各家庭との連携、協力を得て、より良い生活習慣の獲得を目指したい。 |
| 就学指導 | 就学について、情報を提供し、さまざまな相談に応じ、適切な指導をする。 | コロナの行動制限がなくなり、幼小の交流が再開し、小学校見学、連絡会などの実施により、スムーズな就学に繋げることができた。対面だけではなくオンラインを活用した小学校との連携を今後も継続しながら、適切な就学指導を行っていききたい。 | B | 小学校との連携、情報交換は対面と同時にオンラインを活用し、必要な情報を保護者に発信し、小学校就学への安心と期待につなげていきたい。 |
| 特別活動 | 園行事や保育活動等を通して、豊かな情操を培い、異なる学年との交流が図られるよう指導する。 | 2023年度は引き続き一貫教育の中で高校と幼稚園の教員が互いを訪問し授業を行うという形での交流を行い、「東海キッズ学びタイム」では高校の色々な教科の特色ある活動を通じて園児の興味、関心を高めることができた。 | B | 大学や高校との交流だけでなく、中学校のナイスライ受け入れなど近隣地域との交流も再開し、園内の異年齢交流と共に、人との関わりを通して豊かな情操を育む機会を多く持ちたい。 |
| 研修 | 保育改善、研修、自己課題等に積極的に取り組み、先取的保育が構築できるように研鑽する。 | 2023年度はコロナの行動制限がなくなり、対面での研修会が再開され、東海大学幼児教育研究会をはじめ、各種の研修会に参加し成果を上げることができた。今後もリモートでの研修も含めて積極的に研修に参加し、成果を現場の指導に生かし、より質の高い保育・教育の推進に努めたい。 | B | リモートに限らず、今後も園内外の研修会に積極的に参加し、教職員の更なる資質向上を図りたい。 |